

第 4 号様式（第 6 条関係）

令和 7 年 4 月 10 日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（行政提案、市民提案事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 戸田市まちづくり応援団

代表者職・氏名 代表 横山 誠

所在地 [Redacted]

補助種別	☒ 行政提案事業補助（テーマ名：やさしい日本語の活用事業） ☐ 市民提案事業補助	
新規・継続	☒ 新規	☐ 継続（ 年目）
事業名	やさしい日本語交流事業「Meetup」	
関係部署名	※応募する事業について、事前に相談した課名を記入してください。 協働推進課	
実施期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 2 月 2 7 日	
確定前交付の希望	☒ 希望する	☐ 希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	[Redacted]
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	

《団体の概要》

団体名	戸田市まちづくり応援団
ホームページ	https://todashimachizukuri-ouendan.org/
設立年月日	2023 年 12 月 17 日 設立
会員数	6 人
年会費	1000 円／1 年間
団体の目的	戸田市自治基本条例に則り、住みよいまちづくりの推進とまちづくりを担う個人、団体を応援することを目的とする。
主な活動実績	1. やさしい日本語交流会「Meetup」の開催 やさしい日本語講座とやさしい中国語講座の開催と交流会 令和 6 年 6 月 29 日(土)、9 月 14 日(土)、12 月 14 日(土) 2. 「ランチ Meetup」の開催 毎月第 3 土曜日 12 時より やさしい日本語による交流会 3. 体験型交流会「みんな de クリスマス」の開催 令和 6 年 12 月 14 日(土) 落語鑑賞とおにぎり作り 4. 戸田市元気体操教室「おりいぶ」の開催 毎月第 2 第 4 火曜日 10 時より 会場:戸田福音自由教会
昨年度の補助金等の援助状況	令和 5 年度戸田市共創のまちづくり補助金 コース: スタートアップ運営補助 50,000 円 令和 6 年度戸田市共創のまちづくり補助金 コース: SDGs 応援事業補助 50,000 円 令和 6 年度戸田市社会福祉協議会 地域支え合い助成金 30,000 円
団体 P R など	当団体は 2023 年 12 月設立の発足間もない団体ですが、戸田市自治基本条例の理念に基づき、協働によるまちづくりを推進する市民団体として活動しています。団体設立の目的は、①戸田市自治基本条例に基づく 3 者協働のまちづくりの推進、②地域課題に取り組む個人や団体の紹介、③市民相互の連携を図り、市民が自ら地域課題を解決する意識の醸成、④多文化共生の推進です。現在は多文化共生プロジェクトとして「やさしい日本語交流会 Meetup」の企画運営、高齢者支援プロジェクトとして「戸田元気体操教室おりいぶ」の企画運営を行い、地域課題の解決に向けて取り組んでいます。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性

■事業の目的

今回提案する事業は、「やさしい日本語交流事業 Meetup」です。本事業の目的は、やさしい日本語が積極的に活用され、戸田市民(日本人市民と外国人市民)の多文化共生意識が醸成されることです。

現在戸田市には、様々な背景(留学生、技能実習生、国際結婚、就労等)をもつ、国籍や言語、宗教や習慣が違う外国人市民が生活しています。その数は8,982人(令和7年3月1日戸田市町丁目別人口・世帯数集計)で、戸田市総人口の6.3%、全国自治体平均の約2倍です。(令和6年3月22日付 出入国在留管理庁報道発表より試算)。その意味では、戸田市はグローバルなまちであり、それが戸田市の特色ともいえます。但し、それは同時に様々な課題をもたらします。たとえば日本語での行政手続、学校教育、通院、ゴミ出し、交通ルール、買い物の仕方、災害時の対応などです。日本の文化や習慣、言葉に不慣れな外国人には、ひとつひとつが頭を悩ます問題であり、たとえ悪意がなくとも時にトラブルに発展することもあります。事実、令和5年3月に発行の「第2次戸田市多文化共生推進計画」によれば、外国人市民の増加に伴い「外国の文化に触れることが出来る」(31.2%)、「外国人の知人や友人が出来る」(23.0%)と期待している人々がいる一方で、「ルールやマナーを守らない人が増える」(63.7%)、「犯罪が増える」(20.9%)と不安を感じている市民がいる事も事実です。このような不安を払拭するためにも、外国人市民、日本人市民の双方に「やさしい日本語」を普及させ、コミュニケーションを円滑にとることができる環境を整えるとともに多文化の相互理解を促すことが必要だと考えます。

そのため、戸田市でも様々な取り組みがなされ、協働推進課では外国人市民相談窓口を配置し市役所内の手続きの支援を行っています。また、戸田市国際交流協会の日本語教室には多くの外国人が集い、地域の日本語ボランティアの支援の下、日本語を学ぶ良い機会となっています。また当団体も「やさしい日本語交流会 Meetup」や「ランチ Meetup」「やさしい日本語講座」を開催し、日本人市民と外国人市民との交流の場、交流のツールとなる「やさしい日本語」の普及に取り組んできました。

「やさしい日本語」とは、子ども言葉のことではなく、わかりやすく、伝わりやすい日本語のことで、在住外国人が最初に学ぶ日本語に合わせた話し方です。Meetupでは、日本人市民が「やさしい日本語」を学び、それを意識した会話を心掛けながら、交流会を行います。もちろん「やさしい日本語」を学ぶのは、交流会のためだけではありません。学校や職場、地域の中で、外国人と日本人との間で日本語を通して交流が生まれるためです。戸田市でも少しずつ、「やさしい日本語」が普及し、交流の場が用意されてきましたがまだまだ十分とはいえません。そこで今回、協働推進課の行政提案に応募し、戸田市自治基本条例が謳う行政と市民(市民団体)の協働による「やさしい日本語」の普及と活用を進める事業を実施し、以下にあげる5つの効果を目指します。

① コミュニケーションの円滑化

「やさしい日本語」の普及により、日本人市民と外国人市民間のコミュニケーションを円滑にし、相互理解を深められる。

② 外国人市民の地域社会への参画促進

日本語学習機会の提供と日本語によるコミュニケーション能力の向上によって、外国人市民が地域活動に参加しやすい環境がつくられる。

③ 多文化共生社会の実現に向けた意識の向上

やさしい日本語による相互理解を通して、互いを尊重し、共に生きる社会づくりへの意欲が向上する。

④ 地域企業の活性化

外国人従業員と日本人・教員従業員のコミュニケーションが円滑化されることで職場環境が改善し、業務効率も向上し、企業全体の活性化がもたらされる。

⑤ 戸田市の国際化推進

「やさしい日本語」普及の取り組みは、戸田市が多文化共生を推進する先進的な自治体として国内外にアピールする良い機会となり、イメージ向上に貢献する。

2 事業を実施するに当たっての現状や課題

【2024 年度の現状】

昨年度、当団体は「やさしい日本語講座/やさしい中国語講座」(6月、9月)を2回、「やさしい日本語交流会(ランチ Meetup)」を10回、12月に体験型交流会として「みんな de クリスマス」(落語鑑賞とおにぎり作り)を実施しました。参加者はそれぞれ34名、124名(延べ人数)、18名で、外国人参加者の出身国は中国、ミャンマー、フィリピン、インドネシア、カナダ、ドイツ等で、特に中国人の参加者が多く、戸田市の現状をよく表しています。参加者からは「楽しかった」「国籍を問わず、時を分かち合えたことが良かった」「やさしい日本語(講座で紹介された本)を読んでいます」「以前から興味があったので参加できて良かった」「国籍を超えて一緒に笑えた」などの声が寄せられました。しかしながら、昨年度の活動に参加したのは戸田市全体の0.0012%にあたる176名であり、「やさしい日本語」の存在自体を知らない市民も多く、それゆえ参加者も決して多くはありません。昨年度の活動を振り返り、改めて、情報発信の重要性、ニーズの多様性、良い教材の必要性を課題として痛感しました。そこで今回、行政提案事業として提案させて頂き、行政との協働を通して、「情報発信の強化」「活動の充実」「やさしい日本語ワークブックの作成」を実現します。

「情報発信の強化」とは、戸田市公式 SNS の活用や市内公共施設へのチラシ配架、市民課と連携した転入外国人への活動紹介パンフレットの配布、市内企業への活動紹介などです。また、「活動の充実」とは、新たに「日本語自習室～いっぱい～」をスタートし、日本語学習者には自習の場、補講の機会を提供し、日本語教師を目指す方たちにはボランティアの場を提供します。また、やさしい日本語講座の講義内容を一冊のテキストとしてまとめることで、体系的な学習を可能とし、講座後も学び直しができる環境を実現させたいと考えています。

また、今後も転入外国人の増加が予想されること、様々な事情からやさしい日本語交流会や自習教室に参加できない方たちがいることも想定し、日本語に不慣れな外国人市民が孤立することがないように LINE のオープンチャットを利用し、日常生活での不安を少しでも解消できる場を提供できればと考えています。

3 事業の具体的内容

■パンフレットの作成・印刷

活動(やさしい日本語講座、日本語自習室等)を紹介するパンフレットの作成。
仕様 カラー両面(A4 三つ折り) 印刷枚数 1000 枚 完成 7 月初旬を予定
希望配架は協働推進課をはじめ、市役所、市内各施設、商工会を通じ各企業。

■「やさしい日本語交流会 Meetup」の開催

開催予定日: 7 月 19 日(土)13:00-15:00 会場:あいパル
11 月 15 日(土)13:00-15:00 会場:あいパル
2 月 21 日(土)13:00-15:00 会場:あいパル

対象者:外国人市民(日本語学習者、市内在住・在勤の外国人)と日本人市民

内 容: ①チャレンジ:やさしい日本語・外国語講座 参加者各 20 名
②交流会:やさしい日本語を用いた交流会(茶菓あり) 参加者 30 名
日本語遊びのカードゲームや参加者の国の文化や食文化の紹介、
防災や病気、日常生活での悩みをテーマに話し合います。
③Google フォームによるアンケートと缶バッジのプレゼント
④お知らせ 埼玉県、戸田市からの外国人向け情報

■日本語自習室「いっぱいぽ」

開催予定日: 毎月第 3 週の土曜日に開催されている「ランチ Meetup」の後
会場:ランチ Meetup 開催会場(あいパル他)

時 間: 14:00-16:00

内 容: 日本語学習の自習(復習・予習)/お困りごと相談など

■やさしい日本語ワークブックの作成・印刷

やさしい日本語講座で使用する教材の作成(戸田仕様)

仕様:B5 カラー 50 ページ 完成:1 月末

部数:100 部(やさしい日本語講座にて配布)

内容:1. やさしい日本語とは

2. まずは練習(話し言葉)

3. まずは練習(書き言葉)

4. 話してみよう

5. 書いてみよう

6. 応用編(戸田市での生活)

4 事業の実施体制

■事業紹介パンフレットの作成・印刷

ボランティアと業者による企画。編集、印刷は業者に委託

■やさしい日本語交流会 Meetup

【事前準備】

会場の確保、茶菓と備品の準備	ボランティアにより準備
Meetup のチラシの作成と印刷	ボランティアにより作成、印刷
やさしい日本語ワークブックの作成	ボランティアにより企画。 校正・印刷は業者に委託
SNS による情報発信	協働推進課(戸田市)による市公式 SNS での発信 ボランティアによる FB、インスタ配信 戸田公園ガイドへの掲載 業者によるホームページ保守・管理

【当日】

やさしい日本語講座 1-2 名の日本語教師経験者
やさしい外国語講座 市内在住の外国人
会場設営、茶菓準備、進行、テーブルマスター 5 名ほどのボランティア
グーグルによるアンケート集計
活動報告をホームページ上にアップ 数名のボランティア
運営全般 当会員 6 名とボランティア

■日本語自習室～いっぱいば～

【事前準備】

会場の予約
SNS による情報発信 業者によるホームページ保守・管理
ボランティアによる FB、インスタ配信
戸田公園ガイド掲載(10 回/年)
協働推進課(戸田市)による戸田市公式 SNS での発信

【当日】

ボランティアによる学習支援とお困りごと相談

■やさしい日本語テキストの作成・印刷

第 1 回、第 2 回やさしい日本語講座を経て、業者に委託

5 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
補助金交付決定後 やさしい日本語交	

流会	
6月中旬～7月中旬	パンフレットの作成・印刷 Meetup 準備(チラシ、外国語講師とテーブル交流のテーマ等)
7月19日	第1回やさしい日本語交流会 Meetup
8月初旬～9月末	やさしい日本語テキストの作成と印刷
10月初旬～10月末	Meetup 準備(チラシ、外国語講師とテーブル交流のテーマ等)
11月15日	第2回やさしい日本語交流会 Meetup
1月中旬～2月初旬	Meetup 準備(チラシ、外国語講師とテーブル交流のテーマ等)
2月21日	第3回やさしい日本語交流会 Meetup
日本語自習室 6-2月まで	会場予約とチラシの作成、SNSによる情報発信と案内 毎月第三土曜日 14:00-15:30
ワークブック作成 4-6月	第1稿完成
7月19日	第1回やさしい日本語講座で使用し、修正する。
7-10月	第2稿完成
11月15日	第2回やさしい日本語講座で使用し、修正する
12-1月	第3稿完成(完成版) 印刷、製本
2月21日	第3回やさしい日本語講座で使用を開始

6 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

【数値目標】

I チャレンジ:やさしい日本語講座、やさしい外国語講座	20名/1回
II 交流会:	30名/1回
III 日本語自習室	15名/1回

【成果目標】

国籍を問わず参加者一人一人が次のことを考えたり、事業参加後に行動が変わることを目標とする。

1. 日本人も外国人も、互いに「日本語」で話せることを実感する。
2. 外国人市民とやさしい日本語を意識して会話をすることが出来る
3. 外国人市民が抱えている不安や課題を解決するきっかけをつくる。
4. 日本人と外国人が互いに理解し合い、学び合う。
5. 国籍を超えた、地域のつながりづくりの第一歩とする。

【目標達成の測定方法】

交流会及び日本語自習室後にアンケートを実施する

7 今後の展望

- ① やさしい日本語の出前講座を実施し、町会や企業、学校等でより広く啓発と普及を行う。
- ② 戸田市の各地域の町会会館や施設で「やさしい日本語交流会」を開催する。
- ③ 多文化共生をテーマにした、一般市民向け「グローバル・ワクワク・ムフェスタ」を開催する。
- ④ 県南3市で同様の活動をしている団体と協力関係を結ぶ

8 役割分担

(申請団体の役割)

- ・「やさしい日本語交流会 Meetup」、「日本語自習室～いっぱいぽ～」の企画と運営。
- ・やさしい日本語ワークブックの製作。
- ・活動内容の情報発信。
- ・ボランティアの募集

(市の役割)

- ・パンフレット、Meetup チラシの配架と SNS の発信。
- ・会場交渉や商工会、町会等への紹介。

(協働することの必要性、相乗効果等)

- ・行政との協働により、当事業の信頼性と安心感が担保できる。
- ・市民団体では転入外国人の情報が把握できないが、転入時にパンフレットを配布することで、外国人市民に確実に情報を届けることができる。その結果、地域での孤立を防ぎ、国籍を問わず共存・協働の機会を提供できる。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	478,370-	
	その他		
自己資金			
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合 計		478,370-	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対象 経費	使用料	34,720-	あいパル使用料 3回(講座+交流会) 多目的室4.5(2時間)×3回 7,320- 音響・映像機器 ×3回 3,000- 研修室(1時間)加算料金×3回 2,400- 音響・映像機器 ×3回 3,000- 日本語学習室 10回 研修室(2時間)加算料金×10回 16,000- 駐車料金 1000円×3回 3,000-	
	食糧費	12,000-	茶菓、飲料水等 12,000-	
	印刷製本費	27,130-	チラシ印刷代(A4カラー 1000枚) 3,410×3回 10,230- 自習室 チラシ(A5カラー 300枚) 1,690×10回 16,900-	
	委託費	327,690-	ホームページ管理・保守費(R7.4~R8.2) 55,000- パンフレット作製・印刷 45,000- ワークブック製作(表紙・校正・組版) 150,000- ココナラ手数料 8,250- 印刷(プリントパック) 25,220- SNSによる情報発信費用 44,220-	
	消耗品費	16,830-	文具等 10,000- 缶バッジ材料(100個分) 1,830- 紙皿、紙コップ等 5,000-	
	謝礼金	60,000-	講座謝礼 2人×3回 60,000-	
	小 計	478,370-	内 訳	補助金申請額：478,370- 自主財源： 0-
補助 対象 外 経費				
小 計		0-		
合 計		478,370-		

